



—湾岸・アラビア半島ニュース—

クウェイト：第34回GCC首脳会議開催

2013年12月10日、11日の両日、クウェイトで第34回GCC首脳会議が開催された。会議には、クウェイトのサバーハ首長、バハレーンのハマド国王、カタルのタミーム首長、サウジのサルマーン皇太子、UAEのムハンマド・アール・マクトゥーム副大統領、オマーンのファハド副首相が出席した。会議は、「クウェイト宣言」と題する、要旨以下の通りの最終声明を発表した。

- \* イランとP5+1諸国との間のジュネーブ合意を歓迎する。また、ロウハーニー大統領就任以来のイランの政治的变化に満足感を表明し、同国と善隣関係を樹立することを希望する。
- \* UAEとイランとの領土問題である三島問題について、UAEを支持する。イランが（ペルシャ湾）沿岸地域に原発を増設する計画を発表したことを懸念する。
- \* 国連安全保障理事会の改革についてのサウジの立場を支持する。
- \* アサド政権がシリア人民に対する集団的虐殺を続けていることを非難する。「国民連合」がシリア人民の正当な代表である。
- \* GCCはエジプト人民の選択を信頼し、エジプトの安全が保たれるよう希望する。エジプト内政に対する外国からの干渉を拒否する。
- \* イラク領内からサウジ領に対してロケット弾が発射された事件（11月）を非難する。イラク政府に対し、この問題に対する責任を果たすよう呼びかける。
- \* 経済分野では、「金融市場の相互補完促進」、「水分野での安全保障・水道の連結」、「通貨統合」、「GCC共同市場」、「2018年に開業予定のGCC鉄道事業」が議題となった。
- \* 「GCC諸国統一軍事司令部」を設置する。「GCC戦略・安全保障アカデミー」をUAEに設置する。「海上の安全のための海上連携センター」をバハレーンに設置する。「GCC警察機関」を設置すると共に、治安機関・テロ対策機関の連携を図る。

評価

- \* 12日付の『ハヤート』、『シャルク・ル・アウサト』両紙によると、今般の首脳会議での優先事項は安全保障・治安と経済統合の促進であった。一方、首脳会議準備のための外相会合の時点でサウジとオマーンとの相違が顕在化した「GCC統合の促進」問題については、協議を継続することとなり、先送りとなった。
- \* 同じく、加盟国間で立場の違いが目立つエジプトのクーデターへの対応についても、今次の声明でエジプトの現政権への明示的な支持が表明されず、本件についての加盟国間の立場の相違は棚上げされた。
- \* 今般の首脳会議では、シリアの反体制派「国民連合」のジャルバー代表が演説し、GCC諸国が出資し同派が管理する「救援基金」を設置するよう求めたが、この基金についても声明では

言及されなかった。「国民連合」を「シリア人民の正当な代表」とみなす一方で、同派に対する実際の資金拠出や援助の提供が必ずしも順調でないことには、シリア情勢についても各々GCC加盟国の態度が異なっていることと、「国民連合」自身の能力不足、そして同派の機能や影響力強化についての国際的取り組みが停滞している証左とみなされる。

(高岡研究員)